

週刊新社会

発行所：新社会党
〒104-0006 東京都中央区日本橋富沢町7-9 京桜興産ビル3F
TEL 03 (5643) 6002 FAX 03 (3639) 0150
振替 00140-0-149727 1ヵ月600円 郵送料1ヵ月160円

新社会ちば

2013年9月 132号

発行：新社会党千葉県本部
千葉市中央区新千葉2-1-1 新千葉ビル401
TEL 043-244-6865 FAX 043-244-6864
E-mail:sinsya@lily.ocn.ne.jp
HP URL:http://www1.ocn.ne.jp~nsp/



平和への祈りをこめて折鶴を折る女学生

「サダコと折り鶴ボス」

今年、

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

市原平和のつどい実

行委員会は、市原市の

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

戦争体験を風化させない 核も、戦争もなげ、平和な世界へ

市原でも「平和のつどい」開く

市原平和のつどい実

行委員会は、市原市の

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・



山本五十六の書が刻まれた木製プロペラを展示

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

した。ヒロシマ・

「原爆の絵展」を計画

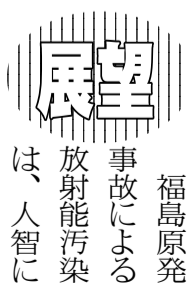
した。ヒロシマ・

再稼働反対! 9.14さようなら原発大集会 in 亀戸

9月14日(土) 亀戸中央公園

総武本線亀戸駅東口 徒歩15分
東武亀戸線 亀戸水神駅5分

- 11:00 ブース出展など開始
- 13:00 第一部集会(スピーチ、リレートークなど)
- 14:00 第二部集会(呼びかけ人、賛同人発言など)
- 15:15 パレード出発(錦糸町方面と浅草方面を予定)



福島原発
事故による
放射能汚染
は、人智に
よる除染能力を超え、
多くの人々を放射線に
晒し、帰宅困難者を生ん
だ。そして「原発新設・
再稼働反対」という大
きなうねりをつくった
▼沖縄諸島の軍事基地
では、戦争体験と米軍
による事故、米兵によ
る暴行などから、反基
地闘争が続けられてい
る。これに對抗し「原
発」「軍事基地」は「雇
用、交付金、税収で町
を豊かにする」という
▼自公政権は、巨額の
税金をばらまくこと
で、景気をよくすると
いう幻想をふりまき、
憲法改正への道を探る
▼かつて「満州は日本
の生命線」「大東亜共
栄圏建設」を掲げてア
ジア諸国への侵略戦争
を起こした政治家と軍
人は、日本の繁栄を語
り「治安維持法と大日
本帝国憲法」を武器に、
国民に「増税と命の提
供」を求めた。今日の
自公政権はこの歴史に
似ている。この流れを
変えるのは政治家では
なく、国民投票に参加
する、主権者である私
たち自身なのだ。

戦時中に発行し資金調達 ご存知ですか? 「戦争債券」

日本の敗戦で「紙くず」に

数年前、自宅の古いタンスを整理していたら、何やら債券らしきものが2枚出てきた。粗悪なその紙に印刷されていたのは「拾圓」と「貳拾圓」とあり、「大東亜戦争割引国庫債券」と印刷してある。どうも戦時債券らしいが、なんで我が家にそんな物があるのか経緯が分からない。母親は今年93歳で訳を聞いてもうちが明かない。そこで戦時債券について調べてみた。

「戦時債券」とは、大日本帝国政府が戦時中の資金調達のために、大量に発行した割引国庫債券と、日本勧業銀行が大日本帝国政府の指導下で発行した債券・宝籤(ほうせん)である。これらは日本の敗戦により配当金も当選金もなく、文字通り紙くずとなった、とあった。

日本では明治中期の日清戦争を皮切りに、戦争を行うたびに大々的な戦時債券の発行が行われた。例えば日露戦争では国内で6億円、海外で7億円もの

局長を替えて憲法解釈を変える動きがあるのはもつてのほかです
**広島・長崎を
わすれない**
8月15日、千葉駅前

現在の日本は「戦争中」ではないにしても、似たような事が行われている。戦前に戦費調達の意味もあって導入された厚生年金の制度も、支給年齢を遅くさ

「戦時債券」は形こそ違いますが、現在でも発行されているようなものだ。
【菅原】



出来もしないマニフェストや、始めからだますつもりで公約を打ち上げたりの、現在の政治家にそんな花火を見せてやりたいものだ。
【菅原】

給与の一部も 債券で支払い

戦時による戦時債券の償還には1930年頃までかかった。

現在の日本でも、戦中ではなかったが、戦後の給料の一部がこの債券で支払われたのかもしれない。

「戦時債券」は形こそ違いますが、現在でも発行されているようなものだ。
【菅原】



この経緯を見ると、亡くなった父親の、終戦直後の給料の一部がこの債券で支払われたのかもしれない。

東京では隅田川花火が集中豪雨のために途中で中止になった。何万発もの花火が雨に濡れてだめになったという。なんとももったいない話である。見物人も残念だが、花火を作った職人はもつと残念だっただろう。

花火といえば、今ではオリンピックの開会式や、大きなイベントなどでは必ずといって

夏といえばやっぱりビールと花火だ。今年も各地で盛大に花火大会が行われた。新潟あたりでは三尺玉を打ち上げたというが、三尺玉といえは直径が1メートル近くはある。そんなのをどうやって打ち上げるのか、そんな現場を見てみたいと思う。

その当時の花火といえば、現在のようなカラフルな色をしたものではなく、オレンジ色一色で、しかも「ドカ」と空一面に広がるものではない。シュルシュルと放物線を描いて落ちてゆく、今で言う「流星」のようなものだった。これが色とりどりのものになるのは明治時代に入ってからで、しかも一晩に何千、何万発も打ち上げられることはなかった。さらに、花火にかかる費用は船宿と料亭が負担するが、それは当然利用料金に上積みされるので、結局は旦那衆の懐から出ることになる。そんな旦那衆がいっぱいいれば毎晩打ち上げられた。粋な江戸文化のなせる業だった。



党関係では、長南県本部副委員長、千葉市憲法を活かす会の半澤事務局長がトークに参加した。

「核と人類は共存できない」、この自明の理に、原子力の「平和利用」という言葉で、一向に原発をやめようとしないう偽善者たち。彼らにとっては「命より金」なのです。自ら作った原発の後処理もできない人たちが、海外に原発を売りつけるなどは、なんと恥知らずなことでしょう。ここにきて内閣法制

これは、女性会議が主体となって活動している「戦争への道を許さない千葉連絡会議」の呼びかけで、毎年8月15日(敗戦の日)と12月8日(真珠湾攻撃の日)の2回行っているもので、今回で40回目となります。

リレートークは、銚子大空襲を描いた「平和への願い」と戦争の悲惨さを描いた「日本に戦争があったとき」の紙芝居が始まり、正午には全員で黙とう。

当日はカンカン照りのなかでしたが、チラシ配布や署名を取り組むなかで、立ち止まって話を聞いてくれたり、署名してくれる若者もいました。

夏といえはやっぱりビールと花火だ。今年も各地で盛大に花火大会が行われた。新潟あたりでは三尺玉を打ち上げたというが、三尺玉といえは直径が1メートル近くはある。そんなのをどうやって打ち上げるのか、そんな現場を見てみたいと思う。

その当時の花火といえば、現在のようなカラフルな色をしたものではなく、オレンジ色一色で、しかも「ドカ」と空一面に広がるものではない。シュルシュルと放物線を描いて落ちてゆく、今で言う「流星」のようなものだった。これが色とりどりのものになるのは明治時代に入ってからで、しかも一晩に何千、何万発も打ち上げられることはなかった。さらに、花火にかかる費用は船宿と料亭が負担するが、それは当然利用料金に上積みされるので、結局は旦那衆の懐から出ることになる。そんな旦那衆がいっぱいいれば毎晩打ち上げられた。粋な江戸文化のなせる業だった。

8・15敗戦の日 「反戦・平和」をテーマにトーク

そのあと、各団体代表が「戦後68年を迎え、広島・長崎の原爆被爆の悲惨さを語り継ぎ、核兵器のない、脱原発の社会をめざそう。また、安倍政権による改憲の動きを阻止し、平和憲法を守ろう」と訴え、最後は、「かりゆしの海」の紙芝居で終りました。

「戦時債券」は形こそ違いますが、現在でも発行されているようなものだ。
【菅原】

東京では隅田川花火が集中豪雨のために途中で中止になった。何万発もの花火が雨に濡れてだめになったという。なんとももったいない話である。見物人も残念だが、花火を作った職人はもつと残念だっただろう。

花火といえば、今ではオリンピックの開会式や、大きなイベントなどでは必ずといって

夏といえはやっぱりビールと花火だ。今年も各地で盛大に花火大会が行われた。新潟あたりでは三尺玉を打ち上げたというが、三尺玉といえは直径が1メートル近くはある。そんなのをどうやって打ち上げるのか、そんな現場を見てみたいと思う。

その当時の花火といえば、現在のようなカラフルな色をしたものではなく、オレンジ色一色で、しかも「ドカ」と空一面に広がるものではない。シュルシュルと放物線を描いて落ちてゆく、今で言う「流星」のようなものだった。これが色とりどりのものになるのは明治時代に入ってからで、しかも一晩に何千、何万発も打ち上げられることはなかった。さらに、花火にかかる費用は船宿と料亭が負担するが、それは当然利用料金に上積みされるので、結局は旦那衆の懐から出ることになる。そんな旦那衆がいっぱいいれば毎晩打ち上げられた。粋な江戸文化のなせる業だった。